

広島市
医師会運営

安芸市民病院だより

理念

私たちは 患者様の立場にたって、
信頼され 満足される、
地域に密着した医療を提供します。



「ネモフィラの丘」

知賀 結の会 岡田繁宏さん
撮影地：国営日立海浜公園

畑賀福祉まつりに参加して

栄養室室長補佐 鈴木 晶子

令和7年2月23日に畑賀福祉まつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止で自粛生活となって以来の、待ちに待った再開でした。まつりは、地域の幅広い年齢層の方々が来場され、大盛況でした。本来の明るい町の姿がようやく戻ってきたように感じました。

当院からは糖尿病ケアチームが参加し、健康相談コーナーを担当させていただきました。当コーナーでは、成人を対象にしたAGE（終末糖化産物）測定・血圧測定・健康相談、および小児を対象にした健康クイズを実施しました。親子や夫婦、友人同士等、多くの方々がお越しになり、測定結果やクイズの答えを見ながら会話を弾ませておられました。来場された方々はどの方も健康管理に関する意識が高く、日頃から健康維持のためにいろいろな工夫をされているとのお話を伺うことができました。

新型コロナウイルス感染拡大後、日本生活習慣病予防協会が一般人を対象に行った調査によると、感染拡大前と比較して4人に1人が体調変化を感じており、新たに「高血圧」「脂質異常症」「腰痛症」等の生活習慣病と診断された方も少なくないようです。生活習慣の変化としては「運動の減少」「ストレス」「睡眠不足」などが上位に挙がり、その影響からか3人に1人は「体重増加」を実感しているとの結果でした。

新型コロナウイルス感染拡大が収束してきた今こそ、「変化した体調や生活習慣を見直し、健康的な生活に戻りたい」と感じている方は多いのではないのでしょうか。

私たち安芸市民病院スタッフは、地域の皆様が元気で過ごしいただけるように、疾病予防・健康増進に貢献したいと願っております。いつでも、お気軽に、健康についてご相談ください。多職種協働で、皆様の健康づくりをサポートいたします

新入職員紹介

医師



柳谷 奈都子

患者様、ご家族に寄り添った診療を心がけてまいります。地域に根差した医療に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

青木 信也

地域の皆様に寄り添って、丁寧な診療を心掛けてまいります。よろしくお願いいたします。

頼島 悠佳

4月からこちらに赴任してまいりました、頼島悠佳と申します。主に腎臓を専門としており、内科全般、透析管理に携わってまいります。皆様の健康づくりをお手伝いできればと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

看護部



谷本 杏莉(看護師)

患者さんやご家族の方に常に寄り添い、安心して療養生活を送れるよう、笑顔を絶やさずに日々努力していきます。よろしくお願いいたします。



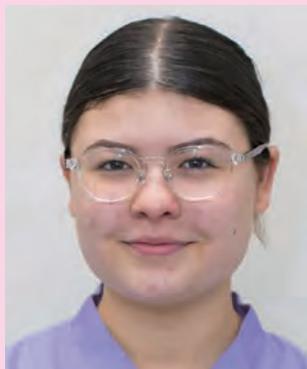
間々田 董(看護師)

安芸市民病院の一員になれたことをとても嬉しく思います。これから患者様やご家族様に寄り添った看護を行えるよう、精一杯努力していきます。よろしくお願いいたします。



池畑 龍之介
(介護福祉士)

広島福祉専門学校介護福祉課を卒業後、安芸市民病院の2病棟で働いています。患者さまの負担を少しでも減らせる介助が出来るよう頑張ります。



渡辺 明美
(看護助手)

新しい環境で不安や緊張はありますが、しっかり1日でも早く看護のことを勉強して患者さんに向き合えるように頑張ります!よろしくお願いいたします。

熊野 朋美(介護福祉士)

安心して過ごして頂けるよう、笑顔で患者さんの気持ちに寄り添った介護の提供を心掛けたいと思います。よろしくお願いいたします。

令和6年度院内業績発表会

当院では、医療の質の向上と、より良い医療を提供できる人材の育成を目的として、教育委員会を設置しております。当院では、この教育委員会主催により、毎年各部署・チーム会・委員会の一年間の業績をスタッフ間で共有する目的で、院内業績発表会を実施しています。

令和6年度は、令和7年3月4日に畑賀集会所で開催し、以下の12題の発表がありました。どの発表も充実した内容でしたが、特に評価された4つの演題が、後日院内で表彰されました。

1. 腎移植を希望する血液透析患者に対する多職種連携の取り組み	透析室	石橋 春香
2. 地域包括ケアシステム推進部の6年間の取り組みとその成果について	地域包括ケアシステム推進部	髻谷 京子 1位
3. 専門性の高い看護師の地域活動推進プロジェクト	地域包括ケアシステム推進部	須山 真見 院長賞
4. 在宅支援部門からみた病棟看護師の在宅支援活動の実態調査	地域包括ケアシステム推進部	田中 美江
5. 令和6年度患者満足度調査の結果報告	副主任看護師会	畑 ゆかり
6. 医療依存度の高い患者の自宅退院に向けての関わり	1病棟	中野 政美
7. 療養病棟における褥瘡推定発生率低下に向けた取り組み	皮膚・排泄ケア特定認定看護師	須山 真見
8. 療養病棟における褥瘡ケア・予防に対する取り組みについて	2病棟	鳴谷 実里
9. 多職種連携を通しての学び	1病棟	椎野 裕美 3位
10. 本人と家族でお別れの言葉を述べ合って旅立たれた一事例	診療部	松浦 将浩
11. STAT画像所見報告の当院での取り組みと課題	放射線室	在里 照貴 2位
12. 公認心理士コンサルテーションの現状報告	診療技術課	御藤 有貴



受賞された方々(令和7年3月17日)

